

## 令和5年度 第3回 山梨県がん対策推進協議会概要

1 日時 令和6年3月11日(月) 午後7時～8時30分

2 場所 オンライン開催

3 出席者(21人中18人出席)

飯島委員、大西委員、長田委員、小俣委員、木内委員(代理)、窪田(恭)委員、窪田(良)委員、小池委員、小嶋委員、津金委員、久田委員、廣瀬委員、松田委員、山口委員、山寺委員、由井委員、依田委員、若尾委員

4 次第

1. 開会

2. 議事

(1) 報告事項

・山梨県がん対策推進計画(第4次)案について

資料1-1 山梨県がん対策推進計画(第4次)案について

資料1-2 山梨県がん対策推進計画(第4次)案

(2) 協議事項

・山梨県がん対策推進計画(第4次)ロジックモデルについて

資料2-1 ロジックモデルについて

資料2-2 山梨県がん対策推進計画(第4次)ロジックモデル(概要)

資料2-3 山梨県がん対策推進計画(第4次)ロジックモデル

(3) その他

・委員からの意見について

委員提供資料

5 概要

(議事)

(1) 山梨県がん対策推進計画(第4次)案について

・資料1-1 山梨県がん対策推進計画(第4次)案について

・資料1-2 山梨県がん対策推進計画(第4次)案

(健康増進課から資料説明)

・各委員から意見

(概要)

・計画中の「目指すものとする」という言葉については、最終目標をロジックモデルに明記して、意見交換の機会を確保し、関係団体や県民が同じ方向を見て団結できると良いと思う。

- ・シェアードデシジョンメイキングについては、ロジックモデルに記載するなど、現場で実行されているのか評価していくことが必要だと思う。
  - ・シェアードデシジョンメイキングは、SDM と表現されることも多いので、注釈には SDM も記載した方が良い。
  - ・シェアードデシジョンメイキングの注釈に「対等な立場」と記載があるが、どのような意味か。
  - ・いわゆる医師と患者さんの関係が、パターンリズムという一方的な主従関係のようなものからインフォームドコンセントによる「標準治療を説明して患者さんはそれに同意する」ような形に移ってきた。シェアードデシジョンメイキングは、患者の価値尺度に応じて、同じ立場・同じ目線で話し合いながら治療判断を選ぶということ。
- SDM の注釈に「対等な立場」という表現を加えるべきか議論された。最終的に文献に基づく表現を基本としつつ「対等な立場」も記載することが適当と結論付けられた。

## (2) 山梨県がん対策推進計画（第4次）ロジックモデルについて

- ・資料 2-1 ロジックモデルについて
- ・資料 2-2 山梨県がん対策推進計画（第4次）ロジックモデル（概要）
- ・資料 2-3 山梨県がん対策推進計画（第4次）ロジックモデル  
（健康増進課から資料説明）

### ・各委員から意見

#### （概要）

- ・分野別アウトカムの「肝がんの早期発見」は、最終アウトカムの「罹患率の減少」ではなく「死亡率の減少」につなげるべきである。
- ・ロジックモデルでの最終目標は、「誰 1 人残さないがん対策を推進し、すべての県民とがんの克服を目指す」ではなく「すべての県民ががんを克服したとと思っている状態になること」が適当である。
- ・どの分野にどの程度の力を入れていくべきなのか分からなくなることが懸念される。がん対策のどこに重点を置くのかは県が示すのか。
  - ・（事務局）来年度以降、毎年開催する本協議会において、ロジックモデルを用いて現状を報告し、委員の皆様のご意見をいただきながら検討していきたい。
- ・ロジックモデルは、山梨県全体のがん対策がどこまでできたのかについて、行政が見える化し評価するツールにしか過ぎない。医療従事者は、今やってくださっていることを同じようにやっていただければよい。
- ・県内の各地域の差を検証することも必要である。
- ・年齢調整死亡率などの最終的な目標を挙げていけば、わかりやすいのではないか。
- ・たばこは、吸う人と吸わない人の二極化している。喫煙者の多い職種の喫煙率を減らすような施策があるとよいと思う。
- ・職員数 50 人未満の産業医や保健師がいない職域での検診における精密検査受診率の向上が

必要である。

- ・ ロジックモデルの目標に向かって、歯科医師も患者のQOLを支えていきたいと思っている。また、歯科医師会では肝がん状態の患者さんの治療や口腔内の有害事象に対応する研修会を年1回行っており、多くの歯科医師が患者さんに対応できるような状況を作っている。
- ・ 薬剤師会は、禁煙のサポート研修会を実施したり、サポート薬局の増加を目指していく。また、緩和ケアに関する資格を持つ薬剤師が少ないと思われるが、在宅にも力を入れていければと考えている。
- ・ 第4次計画の「がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」について、がん相談支援センターに、がんと診断されたすべての方が立ち寄れるような環境がとても重要だと思っている。
- ・ がん診療連携拠点病院連絡協議会の相談支援部会において、「がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」に関してどのように取り組んでいけるか検討していくことが重要だと思う。
- ・ ロジックモデルのアウトカムとして、シェアードデシジョンメイキングがどれくらい具体的に達成できたかということを出カムに加えれば、山梨の特徴にもなり得るのではないかと思う。

### (3) その他

- ・ 委員からの意見について  
(資料提出委員から資料説明)